

令和3年度海外派遣選手選考要領について

- 1 趣旨
令和3年度海外派遣の選考要領について、強化委員会から意見を提出し、連盟理事の承認及び決定に資するため

2 選考要領等

(1) 選考対象大会

- ア サマーバイアスロン大会 (第1次) 9月29日 (水)～10月3日 (日)
 9月29日 (水) 公式トレーニング
 9月30日 (木) インデペンディブル種目 (ランニング)
 10月1日 (金) 公式トレーニング
 10月2日 (土) スプリント種目 (ローラースキー)
 10月3日 (日) スプリント種目 (ローラースキー)
 10月4日 (月) 予備日
 イ 札幌選考会 (第2次) 令和4年1月2日 (日)～4日 (火)
 1月2日 (日) 公式トレーニング
 1月3日 (月) ショートインデペンディブル種目
 1月4日 (火) スプリント種目

(2) 選考要領

ア 実施要領

- (ア) 体育学校所属選手は競技統、それ以外の選手はレーザ一統で実施
 (イ) 競技用ライフルとレーザーライフルは同一要領及び評価で実施
 (ウ) コース・距離設定及び細部実施要領については別添
 エ 各カテゴリーによる選考要領

(イ) シニア

男子3名及び女子4名をサマーバイアスロン大会で決定する。
 札幌選考会 (第2次) で男女各1名をIBUCup#7、#8に派遣

(ウ) ジュニア及びユース

選考対象の2大会の成績によるポイント方式で実施し、上位 (ジュニア、ユース区分なし) 男女各5名 (ジュニア最大3名) を以下の大会により選考する。

ア サマーバイアスロン大会

上位男女各3名

イ 札幌選考会

上位男女各2名 (サマーバイアスロン大会で選考された上位男女各3名は除く。)

- エ ジュニアはユースの上位であることを基準とする。
 オ ジュニア・ユース世界選手権大会の参加基準
 カ ジュニア参加基準 (2000年～2002年生まれ)
 キ ユース参加基準 (2003年～2006年生まれ)
 ク エアバンチャーポイント

昨シーズンのワールドカップ、IBUカップ及びユース・ジュニア世界選手権の成績をもってエアバンチャーポイントとする。

点数	成績
4点	選考免除選手
2点	2020-2021 ワールドカップ出場資格獲得者
0点	その他の選手

オ ポイント計算

(ア) 参加者数×2点を1位のポイントとし、以下上位から2点を減ずる

(イ) 点数表

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
男子	18点	16点	14点	12点	10点	8点	6点	4点	2点
女子	16点	14点	12点	10点	8点	6点	4点	2点	

※男子9名、女子8名参加した場合

(ウ) 同点の場合 (例) トップとのトータルタイムが短い選手

	ポイント点数	スプリント (1戦目)	スプリント (2戦目)	合計	選考者
A選手	12+14=26	27分00秒	27分15秒	54分15秒	○
B選手	14+12=26	27分30秒	27分20秒	54分50秒	×
C選手	10+16=26	27分45秒	27分00秒	54分45秒	×

3 選考免除

(1) ワールドカップ

令和3年度日本バイアスロン連盟のナショナルチームに該当する選手のうち、令和3年5月1日時点において次の基準のいずれかが若しくは両方を満たす選手 (男子3名、女子2名) については、今シーズンにおける海外派遣に係る選考を免除する。

【選考免除基準】

・IBUが定めるクオリファイポイント70点未満

・2020/2021 シーズンにおいてIBUワールドカップ40位以内に入り、個人ポイントを獲得

ア 男子

村木 司、立崎 幹人、尾崎 光輔

イ 女子

立崎 菜由子、前田 沙理

(2) ユニバーシアード

昨年度実施予定のユニバーシアード大会延期に伴い、令和2年度サマーバイアスロン大会で決定した選手男女各1名を免除する。

a 男子

山本 大晴

b 女子

佐々木 美沙

以上